

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年12月20日

【評価実施概要】

事業所番号	0172902454		
法人名	有限会社 シャイニング		
事業所名	グループホーム ファミリー		
所在地	北海道旭川市永山1条1丁目2番38号 (電話) 0166-48-8100		
評価機関名	タンジェント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成19年12月20日	評価確定日	平成19年12月25日

【情報提供票より】(平成19年12月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)17年 11月 24日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	11 人	常勤 7人, 非常勤 4人, 常勤換算	6.2人

(2) 建物概要

建物構造	木造平屋	造り
	1階建ての	~ 1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	27,600 円	その他の経費(月額)	19,000~25,000 円
敷金	有(円)	無	
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり	1,350 円	

(4) 利用者の概要(12月1日現在)

利用者人数	9名	男性	6名	女性	3名
要介護1	1名	要介護2	3名		
要介護3	4名	要介護4	1名		
要介護5		要支援2			
年齢	平均 68歳	最低	42歳	最高	87歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	永山循環器科クリニック・環状通り眼科・いとみ歯科医院
---------	----------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

子育て支援のボランティア事業が併設され、子供達と利用者のクリスマス会を合同で開催したり、日常的に交流が行なわれ認知症緩和ケアに活かされていると共に子供達の母親や地域の人達も集い地域に密着した活動が継続的に行なわれケアサービスの質の向上に取り組まれています。経営者は、職員会議やカンファレンスを通じて内部コミュニケーションを重要視しながら職場環境や職員の待遇面など全体的に考慮し、職員が永く勤務出来るように取り組み、内部・外部研修参加を積極的に奨励して職員を段階的に育てる支援も実施されています。共用空間は、ソファや椅子が配置され、一人になったり利用者同士ゆっくり談笑などできるスペースが用意されている。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回評価では、注意の必要な物品の夜間の管理方法について改善点があげられていましたが、薬や刃物、洗剤等の注意の必要な物品については、保管場所や保管方法が明確に決められ取り組まれ改善されています。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 自己評価は、全ての職員が参加して取り組み、評価項目の細目について職員の新たな気づきや改善の機会として捉えられケアサービスの質の向上に利用されています。また、外部評価の結果については家族や運営推進会議に報告され改善の機会として取り組まれています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議は、評価日現在2回実施されています。議題については地域貢献の活動と取り組みについて 地域事業活動参加について ホーム主催の「夏祭り」の開催について 外部評価結果の改善について 次回開催の運営推進会議の要望や取り組みについて
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 毎月、家族に「近況報告」を発行して、利用者の日常の暮らしぶりやホーム行事参加の様子、健康状態などを報告して、要望や意見、不安などが言いやすい雰囲気づくりをしています。また、利用料を毎月持参して戴き、職員と家族のコミュニケーションを大事にして、そこでの意見や要望を運営に反映されています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 子育て支援事業で子供達や母親との交流が行なわれていたり、「夏祭り」を開催して地域や町内会の人達、家族、専門学校生、子供達に呼びかけ交流や連携に取り組まれています。また、近隣への散歩や買い物、実習生の積極的な受け入れ、町内会との交流など日常生活を通じて地域との連携が行われ認知症に対する理解や広報に取り組んでいます。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	全ての職員が参加して、利用者が地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者、職員は理念の重要性を職員会議やカンファレンスで話し合い共有し、その実践にむけて日々取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	近隣への散歩や買い物、専門学校の実習生の積極的な受け入れ、町内会との交流など日常生活を通じて地域との連携が行われ認知症に対する理解や広報に取り組んでいます。		特筆すべき点として、子育て支援事業で子供達や母親との交流が行なわれていたり、「夏祭り」を開催して地域や町内会の人達、家族、専門学校生、子供達に呼びかけ交流や連携に取り組まれています。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は、全ての職員が参加して取組み、評価項目の細目について職員の新たな気づきや改善の機会として捉えられケアサービスの質の向上に利用されています。また、外部評価の結果については家族や運営推進会議に報告され改善の機会として取組みられています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議については評価日現在2回開催されている。委員は利用者、家族、民生委員、町内会役員、知見を有する有識者、管理者・職員で構成され地域貢献活動など具体的に取り組んでいる。</p>		<p>今後は、運営推進会議で行政や地域包括支援センターの協力を得ながら具体的な取り組みの内容が検討されている。</p>
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>事業所、管理者は、市担当者及び地域包括支援センターとの連携の重要性について理解し、日々取り組んでいる。また、法人代表者は、ケア研究会などの役員をしていて地域のネットワーク構築や地域のケアサービスの質の向上に貢献している。</p>		<p>今後は、行政や地域包括支援センターとのさらなる連携により、地域でケアの実践が理解される具体的な取り組みが検討されている。</p>
<p>4. 理念を実践するための体制</p>					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>毎月、家族に「近況報告」を発行して、利用者の日常の暮らしぶりやホーム行事参加の様子、健康状態などを報告して、要望や意見、不安などが言いやすい雰囲気づくりをしています。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>利用料を毎月持参して戴き、職員と家族のコミュニケーションを大事にして、そこでの意見や要望を運営に反映されています。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の定着率は安定しており、管理者は職員の異動などで利用者に影響を与えないように配慮する取り組みをしている。</p>		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	経営者は、職員会議やカンファレンスを通じて内部コミュニケーションを重要視しながら職場環境や職員の待遇面など全体的に考慮し、職員が長く勤務出来るように取り組み、内部・外部研修参加を積極的に奨励して職員を段階的に育てる支援も実施されている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	専門学校生の研修の受け入れやグループホーム協議会・研究会での他施設との積極的な交流など開かれたグループホームである。また、ケア研究会の中心的役割を担いネットワーク構築や地域のケアサービスの質の向上に先駆的なグループホームである。		地域包括支援センターの協力のもと、職員の他グループホームとの相互訪問が行なわれている。
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	地域に根ざしたグループホームであり、近隣住民や利用者、家族の信頼の構築に取り組まれている。また、可能な限り入居前には、利用者・家族の見学などで不安を解消する取り組みや、場の雰囲気に馴染めるよう相談しながら取り組んでいる。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員も利用者と一緒に畑作業をして葱や茄子などの野菜を育てたり、センター方式を利用して生活歴を把握して「私のわかること、私のわからないこと」「私のできること、私のできないこと」を職員間で共有して本人の思いになった支えあう関係を築いている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>センター方式で一人ひとりの思いや意向を把握して、散歩や買い物、花菜里ランドへのドライブなど積極的に外出の機会を多く作ったり、子育て支援の子供達との交流など本人の希望や意向を尊重した取り組みがされている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>介護支援専門員の適切な監理のもとに、センター方式を元に介護計画は作成されており、利用者、家族の希望や医師からの助言・情報や職員からの意見を取り入れ具体的なものとなっている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画書に記載している個別の期間を目安に評価を行い、計画的に見直しが行われています。また、利用者・家族の要望や利用者の状態変化に応じて期間終了前であっても都度、現状に即した介護計画の見直しが行われている。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、通院や散歩、買い物など柔軟に支援を行っている。また、医師・歯科医師の往診など時々々の要望にも対応されています。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	利用者をよく知る看護職員が配置され、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。また、利用者それぞれの主治医との連携で気軽に相談できる医師が確保されている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期のあり方については、看護師、医師、家族を交え段階的に相談しながら慎重に検討対応するよう職員間で共有されている。		今後、さらに職員の研修を通じて方針を明確にしていく取り組みが検討されている。
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	記録等の個人情報の扱いについては、個人情報保護法に対応した配慮がされた取り組みが行われている。また、利用者一人ひとりの尊厳やプライバシーを尊重して声かけなど支援するよう取り組まれ、接遇についても検討されています。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	センター方式の「24時間アセスメントシート」で個々の利用者の気持ちが把握され職員間で共有されている。また、一人ひとりの今の気持ちを尊重して、散歩や買い物、囲碁、畑作業など本人の希望やペースに沿って支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事が楽しみなものになるよう、畑で野菜を収穫して一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている。また、健康状態や病状に応じて配慮した取り組みが行われている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日は、決めているが利用者の希望やタイミングに応じて対応している。また、入浴が楽しめるように支援されている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	センター方式で一人ひとりの過去の生活歴が把握され、畑での作業や野菜の収穫、食事の手伝いや後片付け、観葉植物の水遣りや散歩や買い物など外出の機会もつくられている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	畑作業や東屋での談笑、近隣スーパーでの買い物、散歩、公園までのドライブなど気分転換ができるように外出が支援されている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。また、利用者が外出する時は、職員がさりげなくついていき安全面で配慮されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>緊急時に全ての職員が速やかに対応できるように火災避難訓練が年2回実施されています。また、消火設備についても点検が実施され対策されています。</p>		<p>今後は、運営推進会議で委員の協力も得ながら近隣の住民も参加した火災避難訓練を実施して日頃より協力が得られる働きかけを行う計画がされています。また、管理者は防火管理責任者の資格を取得する準備が行なわれています。</p>
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>具体的な水分・食事摂取量が記録され、栄養バランスやカロリーについてもおおよそ把握され、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>		<p>今後は、さらに市の保健所とも相談・連携しながら、摂取カロリーや一人ひとりの状態に応じた支援を行なう計画がされています。</p>
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>天窓より採光が差し込む明るい廊下や居間などの共用空間では、利用者が気になる音の大きさや臭いは感じられない。また、廊下には観葉植物が置かれ、椅子やテーブルも配置され一人になったり利用者同士談笑できるスペースが確保されている。敷地内には、東屋が作られ畑作業の休憩や日光浴を楽しむことができ季節感を味わえるように配慮された工夫がされている。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室には、使い慣れた家具やテレビ、鏡台などが持ち込まれ安心して過ごせる場となっている。また、家族の写真が飾られ一人ひとりの思いが伝わる空間作りとなっている。</p>		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。